中島地区タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：中島地区の活性化について』　平成27年10月25日（日）14：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と対応時期 | 対応策または不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 　空き家の借り手や買い手とのマッチングについて、今後どのように取り組んでいくのか。 | ■可　能□対応済■今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 忽那諸島9島の空き家活用に向け、島しょ部の空き家情報収集及び発信のほか、移住希望者の相談や受け入れのサポートを行う目的で、「里島空き家バンク」を設置します。「里島空き家バンク」の運営は、中島在住のＮＰＯ法人に委託し、平成27年11月から空き家の実態調査を行い、今年度中に貸し借りや売買が可能な物件の情報を全国に周知するためホームページに公開する予定です。さらに移住希望者からの相談等への対応や現地の案内、物件所有者との引き合わせなど、移住希望者と所有者双方の希望に出来るだけ沿った細やかな応対をすることで、島しょ部の活性化につなげていきたいと考えています。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| 2 | 　移住定住までに時間がかかるので、まずは観光に来ていただいて空き家を旅館のように手入れをして貸し出すことはできないか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 松山里島ツーリズム連絡協議会では、島の魅力を活かした体験メニューで、島のファンやリピーターを増やす取組を行っています。漁家民泊や農家民泊など、都市にはない魅力を引き出す「体験型ツーリズム」は全国的にも話題になっており、空き家の有効活用策の１つであると考えていますので、「里島空き家バンク」の調査結果を活用しながら、移住定住も視野に入れて検討します。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| 3 | 　移住・定住には、安定した収入が見込める勤め先が必要。行政として考えてほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 現在、松山市では、企業が新規雇用や設備投資を行う場合、新設や拡大を支援する奨励金制度を設けています。島しょ部については、企業が立地先として検討しやすくするため給付要件を緩和しており、平成25年度には、中島大浦で製造業新設1件について、この制度をご利用いただきました。今後も、企業誘致活動については、島しょ部も含めた提案等を継続して行っていきます。＜奨励金制度＞新規雇用2名以上・設備投資3,000万円以上の企業の新設や拡大を支援する奨励金※島しょ部の場合には新規雇用1名以上・設備投資1,000万円以上と要件を緩和しています。また、本市では、平成25～27年度の3年間で「次代につながる果樹産地生産力向上支援事業」を実施し、市の推進する果樹などの農業用ハウスや栽培施設の新設整備に対して助成を行い、農産物の高品質・安定生産を推進し農家所得の向上を図っています。 | 地域経済課上隅　直也089-948-6549農林水産課池内　陽一089-948-6561 |
| 4 | 旧中島東小学校の体育館を利用したが雨漏りをしていた。中島地区にある廃校になった小学校と幼稚園の活用について、できれば合宿ができるなど、島外の人が年中スポーツを楽しめる施設にならないか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能■その他 | 廃校の3校（旧中島東・南・天谷小学校）の中で、民間等の活用により有効利用が見込める校舎については、地域の方とも協議のうえ公募等による利活用を検討したいと思いますが、耐震性や老朽化等の問題があるものは、取り壊しも視野に入れた検討が必要だと考えています。なお、旧中島東小学校の体育館については、島の中心地に位置し、今後も地域利用が見込まれますので、改修も含めて利活用策を検討します。また、「中島Ｂ＆Ｇ海洋センター」をはじめとする、スポーツ施設と宿泊施設を組み合わせた有効活用策については、今後、地域の皆さんと協議しながら検討したいと考えています。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816学習施設課宇都宮　和史089-948-6831 |
| 5 | 中島の廃校となった施設を利活用して、徳島県神山町のようにＩＴ企業を誘致できないか。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 松山市では、ＩＴ関連企業だけでなく、まとまった雇用を創出するコールセンターや事務センターといった企業の誘致を行ってきましたが、多くの企業は、雇用しやすい市街地での立地を前提に検討しているとお聞きしています。そうした中、中島及び睦月島では民間通信事業者が学校や企業向けの専用通信回線「ビジネスイーサワイド」を提供している状況がありますので、今後も誘致活動の中で、島しょ部も含めた提案等を継続していくことにしています。 | 地域経済課上隅　直也089-948-6549坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| 6 | 中島で実施している事業が住民に周知できていないので、広く周知をしてほしい。 | ■可　能□対応済■今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 離島の活性化について、地域の皆さんの意識の共有を図るためにも、今後は総代会や各種団体の会合など機会あるごとに市の事業説明を行っていきます。また、パンフレットやポスター等を掲示するとともに、地元の回覧を利用させていただくなど、広く周知に努めます。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| ７ | 移住・定住促進のため島での暮らし（仕事・住居など）の相談のお手伝いに、地元のお世話好きな方の力を生かす方法を考えてみてはどうか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 平成27年度中に実施する空き家の実態調査の結果を、地区総代会で報告させていただき、その際、地域の方に移住・定住希望者の相談等をご協力いただくことについて、協議させていただきたいと考えています。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| ８ | 地域おこし協力隊は愛媛県に約50名いると聞いたが、成果はあるのか。また松山市には何名いるのか？ | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 平成27年11月1日現在、愛媛県内では今治市や伊予市など13の市町が地域おこし協力隊を導入しており、52名が地域活性化の活動を行っているとともに、退任した隊員が引き続き居住するなどの成果も上がっていると聞いています。現在、松山市では、地域おこし協力隊を導入していませんが、今後受け入れを希望し、受け入れ態勢などが整った地域があれば、前向きに検討したいと考えています。 | シティプロモーション推進課福田　昌樹089-948-6707 |
| ９ | まずは、島に家族で来てもらって、知ってもらってから移住・定住の話になると思う。睦月島には宿泊できる施設は公民館だけで風呂や飲食店がないので、教員住宅を宿泊できるようにしてほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 睦月小学校は現在休校中ですが、今後、学校が再開される場合に備えて、教育委員会が施設を管理し続ける必要があり、他の用途で利用することはできないことになっています。また、宿泊施設の整備については、「里島空き家バンク」の活用や「里島ツーリズム」を進めていく中で、漁家民泊や農家民泊の可能性も含め、地域の方と一緒に検討したいと考えています。 | 学習施設課宇都宮　和史089-948-6831坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| 10 | おためし移住施設の入居期間が最長1年になっているが、家族で引っ越してくる場合は準備期間が1年では大変なので、期間について柔軟な対応をしてほしい。 | ■可　能□対応済□今年度中■次年度以降□検討中□不可能□その他 | 神浦定住促進住宅は、定住先や就労先を見つけるまでの「仮住まい」としての使い方を想定して、入居期間を最長１年としています。入居後、定住を希望される方には、今年度設置する「里島空き家バンク」を活用して、住居を探していただくことになります。定住促進住宅と空き家バンクの2つの事業をうまく連動させ、さらに入居される方のさまざまな事情に対し、随時対応させていただくことで、移住定住の促進を図ります。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |
| 11 | 若い人たちを地域で支えていきたいが交流がない。移住してきた若い人と島の人が一緒に取り組む活動について助成をしてほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 中島地区まちづくり協議会では、地域課題の解決や地域の魅力を伸ばすため、さまざま協議を行い取り組む中で、「トレッキングコースの整備」など移住してきた方々との取組実績があります。ご提案の次世代の担い手である若い人たちとの交流についても、地域の皆さんで協議していただき、積極的に交流を図ることで、地域の活性化につなげていただきたいと考えています。今後も本市では、まちづくり協議会に対して、交付金などの財政支援や定例会への参加などの人的支援を継続していきます。 | 市民参画まちづくり課網矢　宏明089-948-6963 |
| 12 | 中島本島以外の６つの島のうち、５つの島で老人クラブが結成されていない。各島のコミュニティを良くして安全で楽しい島にするために、老人クラブが結成されるように行政から推進していただきたい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 現在、松山市では松山市高齢クラブ連合会と連携し、高齢クラブの活動状況や取組等を紹介するとともに、地域を訪問して意見交換を行うなど、高齢クラブ活動の推進と活性化を図っています。クラブの設置や加入は任意であり、強制するものではありませんが、高齢者の生活を豊かなものにするため、今後もクラブ活動の活性化や未結成の地域への支援として、引き続き運営事業補助金の交付や松山市高齢クラブ連合会と連携し、活動相談への対応等に取り組んでいきたいと考えています。○高齢クラブ運営事業補助金・会員数　30名未満のクラブ　　　 36,000円・会員数　30名以上　50名未満　 　48,000円・会員数　50名以上　70名未満　 　60,000円・会員数　70名以上　100名未満　 72,000円・会員数　100名以上のクラブ　 　84,000円 | 高齢福祉課橋口 徳則089-948-6410 |
| 13 | 睦月は高齢化率が高く行政連絡員が市役所への申請や届出を代行しているが、負担が増大してきているので、職員の派遣や行政連絡員の報酬について考えていただきたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 「行政連絡員制度」は、中島本島以外の6地区の方々の住民サービスを低下させないために導入した制度で、近年、高齢化が進んだことでますます行政連絡員の果たす役割も増え、この制度の存在意義も増しています。今後もこの制度を継続し、行政連絡員の報酬については、適正な金額となるよう見直しを検討しています。 | 市民課三谷　二三夫089-948-6922 |
| 14 | 中島は後継者難なので、都会から農業をしたいという方がいれば、紹介してもらって継いでいただき、中島の農業を守っていきたい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 現在、市外から中島地区に移住された方で「青年就農給付金」制度を利用して、農業を始めた方がいらっしゃいますが、地域農業や農地を守り、次代を担う農業者を確保するためには、新規就農者の収入の安定を図ることが大事であると考え、さまざまな就農支援の取り組みを行っています。＜青年就農給付金制度＞45歳未満の新規就農者に対し、認定新規就農者の認定を受けるなど一定条件を満たした方に、年間最大150万円を最長5年間給付するもの。後継者を探している方の情報を収集し、希望に応じて下記の情報発信を検討します。①アイランダーや移住フェアなど、島暮らし・田舎暮らしに関心のある人が集まるイベントでの告知②「里島めぐり」や、今年度設置する「里島空き家バンク」のホームページで就労に関する情報を発信 | 農林水産課丹生谷　和敬089-948-6566坂の上の雲まちづくり担当部長付渡辺　亮089-948-6816 |